

はやぶさ 第82号 2014年05月23日(金)

=====

発行責任者： 一般社団法人 経営特訓士協会（略称：K T G A）

理事長 平本 靖夫

（Captain 平本：（株）I&C・HosBiz センター）

編集責任者： 理事 石川 昌平

はやぶさのバックナンバーURL：<http://keiei-tokkunshi.jp/maga.php>

一般社団法人 経営特訓士協会

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：[happy@keiei-tokkunshi.jp](mailto:happy@keiei-tokkunshi.jp)

=====

---

メルマガ「はやぶさ」 第82回目の発信です、5回シリーズの第3回です。

著者：（株）産業革新研究所

ものづくり革新ナビ 主宰者

<http://www.monodukuri.com/>

社長 熊坂 治

---

タイトル：ものづくりプロセス革新のススメ

\*\*\*\*\* 本題 \*\*\*\*\*

第3回 発展・進化する優良企業はどうしているか

ものづくり革新ナビゲーターの熊坂です。

前回までに述べたような製造業を取り巻く環境は大きく変化しており、それに伴って優良企業グループは業務プロセスの革新を着々と進めています。

例えば、30 年前は TQC の総本山で、現在も全国の QC サークル活動を統括する日本科学技術連盟でも、商品企画や、問題を未然防止するための設計、ソフトウェアの品質といった上流工程コースのセミナーが増えています。

パナソニックでは 2000 年から QSD (Quality Stabilized Development) 活動という名のもとに、QFD/TRIZ/品質工学を活用して設計品質を安定化し、ひいては製品問題を未然防止する試みで成果を上げてきました。

日立製作所では同時期に上記 3 手法に 3D-CAD/CAE を加えて Hi Speed 21 活動を、アルプス電気でも 2005 年頃から「一発完動」活動で同様のプロセス革新を進めてきました。

トヨタ自動車では長らく独自の JIT 管理に加えて SQC (統計的品質管理) 手法で品質の安定化を図っていましたが、設計の高度化、期間短縮、市場問題未然防止の要求に応え、2006 年以降に設計を安定化する品質工学を導入し、急激に拡大しています。

この時期に各社が同様の活動を始めたのは、前に述べた製造業を取り巻く環境の変化に呼応したものと考えて良いでしょう。

地力のある大手企業だけでなく、意識の高い中堅会社でも革新プロセスの導入を進める企業が増えてきました。

バルブメーカーのコガネイでは、画期的な小型超高速バルブを QFD/TRIZ/品質工学を活用して実現しており、また社員 70 名に満たない樹脂切削の古賀電機でも近年注目されている S-DBR という生産管理方法でリードタイム半減、納期遅れ根絶を果たしているなど、新しい手法の活用が広まってきています。

従来これらの製造業にとって付加価値の源泉が「**作る**」ところだったのに対して、「**創る**」重要性が増しています。

これに応じて従来不得手であった中小製造企業の中にも、積極的に自社製品を開発するところも出始めました。

たとえば金型や機械加工を得意としていた従業員 36 名のニッターは、クラウドファンディングと言う新しい資金調達方法もうまく活用して iPhone のヌンチャクケースというヒット商品を生み出し、最近は「くるみる」という撮影器具を同様の

手法で開発して注目を浴びています。

これらの商品は収益面での効果もさることながら、メディアに取り上げられ社名の認知度が上がる事で、本業の加工事業にも大いに貢献しています。

どうせやるなら二番手では注目度が低く、若くして先代の後を継いだ藤沢社長の思い切った行動が功を奏しているようです。

もちろん革新的なプロセスが必ず成功するものではありませんが、第1回で書いたように「同じ事を繰り返し行い、違う結果を期待することは正気の沙汰ではない」のです。

そして初回の挑戦を必死で取り組めば、たとえそれ自体が成功しなくても必ず何らかの光明が見えます。それを見逃さずに手掛かりとして一步步進むことで、「違う結果」が必ず訪れるものと確信します。

瀕死の状態になってからの挑戦は、まさに自殺行為となる危険性があり、事業が何とか成立している間に着手することが極めて重要になります。

トヨタが巨額の利益を継続的にあげている理由は、「カンバン方式」でも「ニンベンの付く自働化」でもなく、全従業員特に現場の作業者が毎日頭をフル回転させて、どうやればもっとムダを減らせるのかを考え続けている点にあり、その結果が上記の仕組みであると言われます。

うまくいっている企業の表面的な仕組みを真似るのではなく、各社が自分たちの強みと弱み、機会と脅威をわきまえて、必死に考え抜いて、失敗を重ねながらそこに至ったという、そのプロセスをこそ是非真似ていただきたいものと思います。

そうはいっても自分たちだけではなかなか思いつかないという場合は、是非「ものづくり革新ナビ (<http://www.monodukuri.com>)」の解説、事例を参考にしていただき、さらに Q&A コーナーで個別の悩みを投稿して下さい。I&C・Hosbiz の平本キャプテンを初め、各界の専門家達がそれぞれの観点で意見を回答してくれますので、それらを参考、契機としてまた自分たちの考えを進めていく事が出来ます。

信頼できて深いリアルネットワークとインターネット上の豊富で迅速なネットワークを上手に使い分けて、よりよい業務プロセスを構築できるように応援しています。

◆DVD「経営特くんゲームのすすめ方」と小冊子「経営のゴールド免許の取り方」を  
プレゼントします。下記よりお申し込みください。

アドレス : [happy@keiei-tokkunshi.jp](mailto:happy@keiei-tokkunshi.jp)

\*\*\*\*\* お知らせ \*\*\*\*\*

**◆事務所移転のお知らせ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆**

5月1日（木）よりJR山手線/東京メトロ南北線 駒込駅近くに移転いたしました。

TEL 03-5832-9403 FAX 03-5832-9404

夜景にスカイツリーが一望できて、快適な場所（12階）です。

以下のHPを参照ください。

アドレス：<http://keiei-tokkunshi.jp/othoers/map.html>

=====

■経営者、後継者、経営幹部向け夜間研修コース■

経営資源パワーアップ講座として、平日夜間の2時間セミナー開催を企画しました。

三現（現場、現物、現実）主義にもとづく実戦講座です。

第7回 経営資源パワーアップ講座 2014年06月11日(木) 17:30~19:30

テーマ：ものづくりプロセス革新のススメ

～製造業はこうやって躍進する～

\*講師は、はやぶさの執筆者の

(株)産業革新研究所の代表取締役であり、技術士でもある熊坂 治氏 です。

<http://www.monodukuri.com/>

[http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf\\_2\\_45.pdf](http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_2_45.pdf)

=====

[http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf\\_1\\_47.pdf](http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_47.pdf)

2) 6月14日(土) 13:30~18:30 「経営特訓道場」JR 駒込駅南口 徒歩6分  
東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

満員御礼（2卓）で締め切りました。ありがとうございます

[http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls7231pdf\\_1\\_48.pdf](http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls7231pdf_1_48.pdf)

3) 7月26日(土) 13:30~18:30 「経営特訓道場」JR 駒込駅南口 徒歩6分  
東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

ご案内は以下に掲載しています。

[http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls7231pdf\\_1\\_50.pdf](http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls7231pdf_1_50.pdf)

4) 8月23日(土) 13:30~18:30 「**経営特訓道場**」JR 駒込駅南口 徒歩6分  
東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

ご案内は近日中に掲載します。

5) 9月27日(土) 13:30~18:30 「経営特訓道場」JR 駒込駅南口 徒歩6分  
東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

ご案内は近日中に掲載します。

[illegible]

\*第8回の認定講座は、

6月21日（土）、22日（日） 10：00～18：30 「**経営特訓道場**」  
JR 駒込駅南口 徒歩6 分  
東京メトロ南北線駒込駅1 番出口 徒歩5 分

詳細なご案内は、以下に掲載しています。

[http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls7231pdf\\_1\\_42.pdf](http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls7231pdf_1_42.pdf)

1日コースとの組み合わせで、2日間の履修とすることもできますので、ご相談ください。

＊第9回の認定講座は、

9月6日（土）、7（日） 10：00～18：30 「経営特訓道場」JR 駒込駅南口 徒歩6 分  
東京メトロ南北線駒込駅 1 番出口 徒歩 5 分

詳細なご案内は、以下に掲載しています。

[http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls7231pdf\\_1\\_42.pdf](http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls7231pdf_1_42.pdf)

1日コースとの組み合わせで、2日間の履修とすることもできますので、ご相談ください。

[illegible]

開講決定次第、ご案内します。

認定インストラクターは、現在19名です。

イラスト付きで、以下のURLに掲載しております。

<http://keiei-tokkunshi.jp/staff.php>

注)「経営特くんゲーム」の概要は、下記のHPを参照ください。

<http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

=====

◆編集後記

「ドックイヤー」は1990年代の後半に、変革のスピードを表す言葉としてよく使われた言葉です。犬と人間の寿命を比較すると、犬の1年は人間の7年に相当するので、犬の14年は、人間の98才に相当するように、ICTをはじめとする経営環境や社会情勢は、ドックイヤーのように変革が進むので、今までのスピード感覚では生存できないとの例えでした。

まだ、インターネットがこれ程発達・普及してない時の話です。

今は、インターネットは超高速になり、SNSは進化普及して情報の質と量は当時と比べれば、幾何級数的増加です。物事の変化を即時に体感して、ひと月がアッという間に過ぎ去るを実感されていませんか？

「チャンスは前髪を掴め！」も古くなったと観じ、野球の球のように球筋を読んでチャンスをものにする必要であると日々感じているこの頃です。

はやぶさのバックナンバーURL：<http://keiei-tokkunshi.jp/maga.php>

「はやぶさ」の第82号を発行しました。

本号の編集後記は、編集責任者の石川はフランスに行っていますので、代わり平本理事長が書きました。

---

・6月11日（水）には著者であります熊坂講師の「ものづくりプロセス革新のススメ」のセミナーがありますので、是非ご参加のうえ、直接「ものづくりプロセス革新」のポイントを体得ください。

◆平本理事長・石川編集長も参加します。2部のワイガヤタイムで、講師へのQ&Aや経験交流を楽しみましょう。

---

読者の皆様から、ご要望や率直なご意見をいただきますと、発信する勇気と力が湧いてきますので、皆様からのメールを心待ちしております。よろしくお願いします。

アドレス：[happy@keiei-tokkunshi.jp](mailto:happy@keiei-tokkunshi.jp)

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：K T G A）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：[happy@keiei-tokkunshi.jp](mailto:happy@keiei-tokkunshi.jp)

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

[http://asul2.com/d.php?t=test&m=stone\\_river@hosbiz.net](http://asul2.com/d.php?t=test&m=stone_river@hosbiz.net)

=====